

市民ネットワーク鶴ヶ島は  
大野ひろ子を  
市議会に送っています



3月議会報告 2018.5  
発行／市民ネットワーク鶴ヶ島  
鶴ヶ島市富士見3-27-106  
<http://www.tsuru-net.org/>

# ネット通信

NO. 27

## ほめて育てる

# ポジティブチケット

カナダ警察で、青少年の犯罪を減少させている「ポジティブチケット」。日本ではまだなじみのないこの取り組みに、とある小学校区の町内会がチャレンジしています。

### 警察からももらえる良い事カード

カナダ警察の「ポジティブチケット」は、ゴミ拾いや、信号をちゃんと守って横断歩道を渡った時など、良いことをした時にもらえます。

世界のどこでも犯罪を取り締まるイメージが強い警察。その警察官のクラップムさんは、もともと地域の住民、特に子どもとの触れ合いが必要だと感じ、このアイデアを思いついたそうです。チケットは、ハンバーガーと交換できたり、映画を無料で見ることが出来ます。

実際、この制度を始めてから住民と警察官のコミュニケーションがとれ、青少年の犯罪も少しずつ減っているそうです。

### 小学校と町内会と商店会で協働

この話を知り、愛知県豊川市にある代田小学校区で、町内会、代田小学校、協力事業所の5つの協働で「ポジティブチケット事業」を始めました。

代田小の児童が、地域の行事に参加したり、誰かの手助けをするとカードにポイントがたまります。たまった数によって協力商店の景品と交換ができる仕組みになっています。

2017年6月に市民協働推進事業としてスタート。児童とその保護者の地域行事への参加も増え、コミュニティの活性化につながりました。

代田小学校区の取り組みは、顔を合わせてポイントを押す、アナログな手法を生

かしています。

子どもたちは、町内会の役員の方や先生から「ほめられながら」チケットカードにスタンプを押してもらいます。景品と交換するお店でも「ほめながら」渡します。

この「ほめる」ことから子どもたちとの会話が生まれ、児童の健全育成やコミュニティの活性化が図れるのだと思います。そして、子どもたちがお店に来ることで商店街が賑わうようになったそうです。

町内会に加入していない家庭にも、チケットカードが配られるので、加入が増えているということでした。

ポジティブな体験は、大人になってからもふるさとを思う気持ちが育つことが期待できます。

ネガティブに何でもダメと言いがちな私たち大人が、まずポジティブに子どもたちを見守ることが、地域を変えていくのではないのでしょうか。

\*代田小学校区の「ポジティブチケット」は、早稲田大学マニフェスト研究所主催の2017年優秀コミュニケーション戦略賞を受賞しています。



(近頃、子どもを取り巻く環境が殺伐としてきたように感じるので、子どもたちが夢や希望が描けるような話題を探してみました。)